

# 冬の浜口陽三展

優雅なオブジェ

2018  
11月3日(土・祝) — 2019  
1月27日(日)

\*年末年始は休館

## ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

休館日 月曜日(12月24日、1月14日は開館)、冬季休館12月25日(火)〜1月8日(火)、1月15日(火)

開館時間 11時〜17時(土日祝は10時開館、いずれも最終入館16時半)

ナイトミュージアム▽会期中の第・三金曜(11月16日、12月7日、12月21日、1月18日)は20時まで開館、最終入館19時半

入館料 一般600円(500円)/大学生・高校生400円(300円)/中学生以下無料 \* ( )内は団体料金(20名以上)



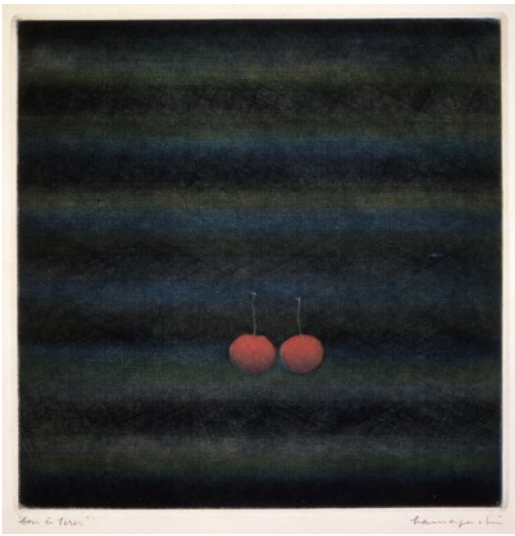
《西瓜》 1981年 カラーメゾチント、紙 23.3×54.1cm

# 冬の浜口陽三展 優雅なオブジェ

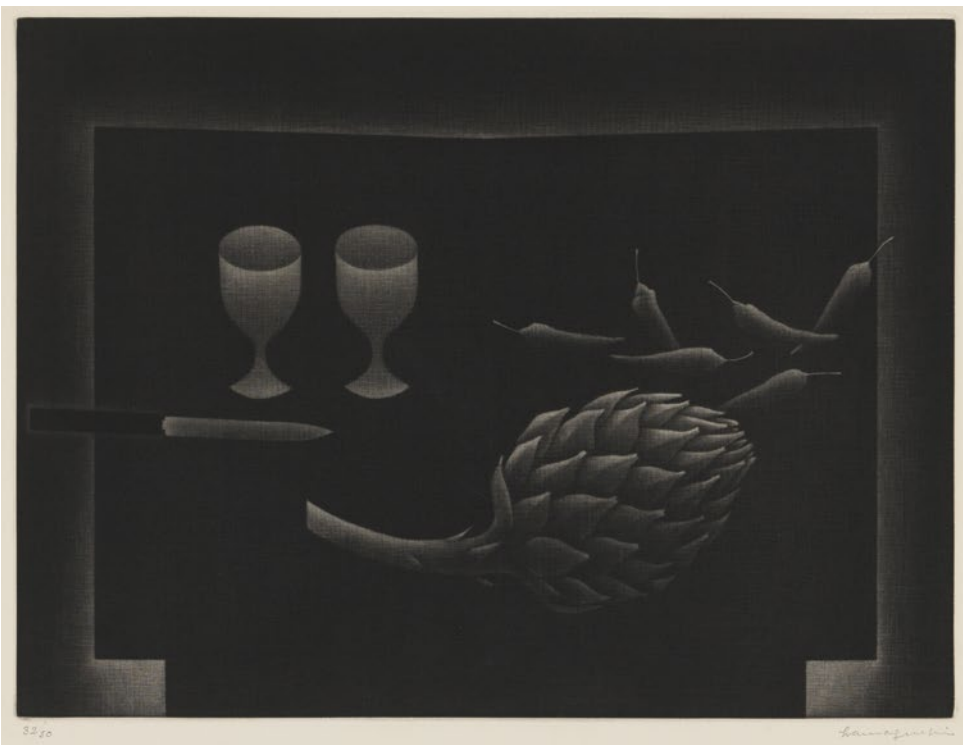
二十世紀、銅版画家として国際的に活躍した浜口陽三（一九〇九—二〇〇〇）の作品は、深い闇を思わせる黒を背景に、優雅にたたくモチーフの美しさが魅力のひとつです。西瓜、さくらんぼ、蝶などは見たままに写した形ではなく、浜口が削り上げる新しい世界にうまれた生命であるかのように描かれ、柔かな光と不思議な気配を纏っています。目にみえない心象や象徴としての「オブジェ」なのかもしれません。その悠然とした作品世界は、時が経っても変わらずに観る者の心に強く響いてくるのです。本展では銅版画を中心に約六十点を展示します。

※オブジェ…立体物のことではありません

— 展覧会前の10月にイベントを予定しています。詳しくはホームページをご覧ください。



《2つのさくらんぼ》 1958年 カラーメゾチント、紙 19.4×19.3cm



《あざみ》 1957年 メゾチント、紙 29.5×39.5cm



《赤い蝶》 1981年 カラーメゾチント、紙 5.7×3.8cm



## ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

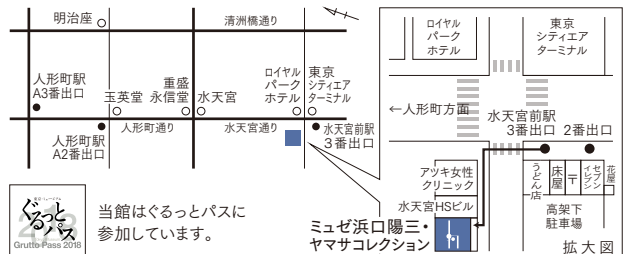
Tel\_03-3665-0251 Fax\_03-3665-0257

Mail\_musee@yamasa.com HP\_https://www.yamasa.com/musee/

アクセス\_東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分

首都高速箱崎1.C[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前



拡大図